



第6分団へ小型ポンプ 絶好な配備タイミング

葛巻町消防団第6分団（千葉良男分団長・団員13人）に5月17日、小型動力ポンプが交付されました。前の小型ポンプは平成元年に配備、耐用年数の20年を経過したことから、今年度、町が配備計画に基づき購入したものです。交付式では鈴木重男町長から長岡宏団長へ交付書が手渡され、次に長岡団長から千葉分団長へ配属書が手渡されました。

今年度の消防操法競技会（小型ポンプの部）は4年に一度の全国大会開催の年。この絶好のタイミングの配備に、消防関係者の期待は膨らみます。

一方現在、ポンプ操作を担当する小谷地政康団員は「ものすごく愛着があって…」と今までのポンプに名残り惜しさがいっぱいの様子。町大会を突破した第6分団は、岩手支部大会では新しいポンプで競技に挑みます。

消防の器具類は有事に備え、常に点検、整備されています



社会人野球の始球式に タイガース4人娘登板

第47回JABA県知事旗争奪春季大会が5月1日と2日、町総合運動公園野球場で開催され、始球式に葛巻タイガースの「4人娘」が登板しました。

中村南美さん、星野帆乃華さん、名久井結衣さん、向川原麻衣さんのいずれも葛巻小5年生。

「大人の選手をめがけて思いっきり投げました」と帆乃華さん。「チームでもピッチャーをやりたい」と南美さんは意気込みます。

社会人野球の今季公式戦初戦となるこの大会は、県内から8チームが参加。フェズント岩手が3年ぶり2回目の優勝を果たしました。

全力投球する左から中村さん、星野さん、名久井さん、向川原さん

き の ぞ ぞん 沖縄県宜野座村に勝利 国際チャレンジデー 2010



リハビリに励む希望の会では「ベタンク」を楽しみました



商工会工業部会は「テーブル」で交流



「キャッチング・ザ・スティック」に初挑戦

参加率

葛巻町	66%
たかきむら 喬木村（長野県）	84%
宜野座村（沖縄県）	53%
スペシャルチャレンジ	
とままえちよう 苦前町（北海道）	73%

十六回目の参加となる国際チャレンジデーは五月の最終水曜日の二十六日、町内全域で行われました。前日からの雨と寒さにより野外でのイベントができない状態でしたが、それでも五千人以上が参加。六十六%の参加率で、宜野座村に勝ち、喬木村には負け、一勝一敗の成績でした。また、参加率六十一%以上の金メダルを十六年連続で獲得しました。今後も、「健康づくりのため」毎日の生活にスポーツを習慣化しましょう。



小屋瀬会場では「ユニホック」で汗を流しました



公民館でも気軽に参加

人口増へまた一歩前進 若者定住へ奨励金交付

町は5月21日、若者定住奨励金事業の3例目となる高橋福美さん（泉田）に奨励金20万円を交付しました。

昨年10月、盛岡市から妻・未咲さんと長女・護葉ちゃんの3人でUターン。「山仕事に関する技術や知識を身につけたい」と福美さんは、現在実家の高橋林業で父・力雄さんの仕事を手伝っています。未咲さんは「とれたての山菜がとってもおいしい」とこの季節ならではの葛巻の食卓を楽しんでいるようです。



鈴木町長から奨励金を受けとる高橋さん夫婦

認知症テーマ劇を披露 理解深める小学生たち

葛巻小学校4年生の授業で「認知症」をテーマにした介護劇が披露され、子どもたちは認知症について理解を深めました。

この介護劇は、町の介護に携わる有志で構成する「劇団さすな」が、一年半ほど前から町のイベントや授業などで行っているもの。マンガの「サザエさん」のキャラクターをもとに、おじいちゃん「波平」が物忘れがひどくなり、認知症ではと家族は心配に…という内容を分かりやすく演じました。

授業を受けた山中咲良さんは「認知症になった人を助けてあげたい」、丸山龍斗さんは「やさしく声をかけてあげたい」と感想を語りました。



舞台セットや小道具も手づくり。ほんわかした気持ちになれます